

令和 4 年 11 月 30 日

経済産業省 製造産業局 自動車課

ITS・自動走行推進室

自動走行ビジネス検討会／第 3 回安全性評価戦略 WG

議事要旨

■ 日 時： 令和 4 年 11 月 30 日（水） 13：00－15：00

■ 場 所： Web

■ 出席者：

（敬称略）

<参加者>

波多野 邦道	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 部会長
江川 健一	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 副部会長
古平 貴大	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 副部会長
佐藤 秀亮	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 分科会長
小澤 浩一郎	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 副分科会長
北原 栄一	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 副分科会長
伊藤 誠	筑波大学 システム情報系 教授
大前 学	慶応義塾大学 大学院 政策・メディア研究科 教授
河合 英直	（独）自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部 部長
近藤 忍	（株）デンソー 品質管理部 品質監査 2 室 機能安全課 課長
菅沼 賢治	（株）デンソー 技術開発推進部 国際標準推進室 東京技術渉外課 シニア アドバイザー
佐藤 崇之	日立 Astemo（株） パワートレイン&セーフティシステム事業部 AD／ ADAS ビジネスユニット
横山 利夫	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 RoAD to the L4 プロジェクト コーディネーター

<事務局>

経済産業省、国土交通省、(一財)日本自動車研究所、(株)KPMG FAS

■ 議事次第

1. 開会
2. 自工会における安全性評価の取り組み状況
3. SAKURA プロジェクト進捗状況－11 月期報告－
 - 3.1. SAKURA プロジェクト全体の進捗概略
 - 3.2. 一般道の安全性評価手法の検討状況
 - 3.3. シナリオ DB の実用化構想
4. 閉会

■ 議事概要

1. 開会
 - 経済産業省及び国土交通省から、開会の挨拶が行われた。
2. 自工会における安全性評価の取り組み状況
 - 日本自動車工業会から、ISO34502 の IS 発行概要、SIP-adus Workshop 2022 の実施概要、自工会 AD 安全性評価ガイドライン更新の進捗内容について報告された。
3. SAKURA プロジェクト進捗状況（案）－11 月期報告－
 - 3.1. SAKURA プロジェクト全体の進捗概略
 - 日本自動車研究所から、22 年度における実施項目ごとの進捗状況について報告された。
 - 22 年度の SAKURA プロジェクトの実施項目としては、主に①安全性評価基盤の構築、②交通外乱シナリオ DB の分析・検討、③国際協調・標準化活動が進捗として挙げられ、それらについて意見交換が行われた。

3.2. 一般道の安全性評価手法の検討状況

- 日本自動車研究所から、一般道のシナリオ体系、交差点右折シナリオのクライテリアについて報告された。
- 一般道シナリオ体系については、一般道における Functional Scenario58 シナリオの体系、ITARDA 交通事故統計データとの比較による有効性確認について、意見交換が行われた。
- 交差点右折シナリオのクライテリアについては、交差点右折シナリオのクライテリアの考え方・要件、今後のクライテリア具体化に向けた方針について、意見交換が行われた。

3.3. シナリオ DB の実用化構想

- 日本自動車研究所から、ユーザーニーズの把握、海外動向の把握、今後の方向性について報告された。
- 収集したユーザーニーズと各海外プロジェクトの動向を踏まえたシナリオ DB の機能拡充の方向性について、意見交換が行われた。

4. 閉会

■ お問合せ先

製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室

電話：03-3501-1618

MAIL：exl-itshann@meti.go.jp

以上